

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）			
	施策（大柱）	2 節 児童福祉	H20 実施計画事業費合計	2,213,650 千円	
	中柱	1 子どもたちの健全育成		1,699,028 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
				千円	
			千円		
			千円		
施策に関係する所属	子ども支援課、保育課、青少年課、福祉総務課				

1)基本方針及び施策の目的

○ 子育て中の親の負担や不安を軽減するために、地域が主体となった子育て支援の体制づくりやサービスの充実を進める。  
○ 子どもたちが安心して健やかに育ていけるように、地域や関係機関等との連携を進める。

2)施策の具体的な内容及び実施方法

○子どもたちの健全育成 子育て環境の多様化に合わせ、保育園や児童館の機能の充実を図るとともに、施設の整備を進める。また、子どもたちの居場所づくりの整備に取り組む。 ○子育て家庭への支援 地域住民やボランティア、NPOなどが連携した子育て支援体制を構築するとともに、保育園や児童館の活動や子育てにかかる相談・情報提供・親同士の交流が出来る場を充実する。また、ひとり親家庭や障害児を持つ家庭への生活支援・経済的支援などに取り組む。 ○子どもたちを守るネットワークの強化 関係機関による「児童虐待防止ネットワーク」の機能を強化するとともに、地域での見守り体制やまちの環境の健全化を進める

3)分野別計画、指針

○所沢市次世代育成支援計画 ○健康日本2 1所沢市計画

② 施策の概要

4)関連・類似施策

○3-6保健・医療 ○4-3青少年育成

5)施策に対する市民ニーズ

『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
	294 人	35.4 %	9 位	3 位
	831 人		43 位	6 位

6)施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
保育園数（市立＋私立）	園	41	44	44
年少人口（0から14歳）の割合	%	13.6	13.5	13.4
ファミリーサポートセンター会員数	人	1,563	1,589	1,849
児童扶養手当認定者数	世帯	1,935	1,999	2,061
児童虐待ネットワーク（～H18）・要保護児童対策地域協議会（H19～）関係機関数	団体	15	17	17

③ 優先的に取り組む事業

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
040602 家庭保育室運営事業	利用率	受入乳幼児数/定員数	%	100	100	100.0	100
040605 社会福祉法人立保育園施設・設備整備費補助事業	民間保育園定員数	年度未定員数	人	1864	1864	100.0	1864
040117 乳幼児医療費助成事業	一人当たりの支給額	支給額/利用数	円	22000	24348	90.3	22000

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	年度	H18					H19					将来目標
					目標値	H18	H19	H20	H21	H22	目標値	H18	H19	H20	
【5年後の目標】子育て中の親のコミュニティづくり拠点設置数	子育ての悩み等、親同士が共有できるコミュニティづくりの支援拠点施設の充実度を測る指標	ヶ所	17	目標値	16	17	17	18	18	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	年度	22		
				実績値	16	16						目標値	18		
保育園待機児童数	保育に欠ける要件がありながら、保育園に入園できずにいる児童数	人	17	目標値	0	0	0	0	0	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	2	年度	0		
				実績値	125	88						目標値	0		
保育園特別保育実施率	仕事と子育ての両立支援を図るための保育サービスの供給割合	%	17	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	年度	100.0		
				実績値	100.0	100.0						目標値	100.0		
		%	100.0	目標値	100.0%	100.0%				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		年度			
				実績値								目標値			
		%		目標値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		年度			
				実績値								目標値			
		%		目標値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		年度			
				実績値								目標値			
		%		目標値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		年度			
				実績値								目標値			
		%		目標値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		年度			
				実績値								目標値			
		%		目標値						実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		年度			
				実績値								目標値			

⑤平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

民間保育園については2園で増改築により60名、認定こども園として新設により60名、合計120名の定員増を行い待機児童の解消を図った。家庭保育室の保育料については2人目以降の保育料軽減を実施した。所沢市民間保育園における児童の処遇向上、職員処遇改善施設の整備等のために補助事業を行い、保育環境の改善に努めるため、民間保育園運営改善費補助事業を実施しているが、19年度は児童処遇改善費、直接処遇職員・調理員給与改善費、施設充実費について補助額を増額した。

⑥ 評価（課題及び目標）

1)平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
待機児童解消のため民間保育園の協力を得て、毎年定員増を行っている。、待機児童数は減少しているが、待機児解消には至っていない。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
待機児童数は特に低年齢児が多い。平成19年度からは家庭保育室の2人目以降の保育料軽減を行ったが、利用者へは保育時間についてのアンケート調査を実施したところ、保育時間延長の要望が多かった。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2)平成20年度における目標設定

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
待機児童解消のため民間保育園の協力を得て、施設整備を行う。	整備計画を示している法人があるため、法人、県と十分協議をしながら事務を進める。	年度末
保育園の民営化。	民営化実施の開始予定時期は平成22年度からとなっているため、検討委員会を設置し検討を行っていく。	年度末

3)今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

当市の待機児童数については県内で毎年上位にランクされているが、民間保育園の協力により毎年定員増を行い、平成19年度は120人の定員増を行い待機児童数の解消に努めている。このため、待機児童数は年々減少はしているものの待機児童数の解消までは至っていない状況である。今後は人口予測及び待機児童数の状況も踏まえ対応を検討していく。また、待機児童数は特に低年齢児が多いことから家庭保育室の充実を図っていく必要がある。家庭保育室については平成19年度から同一世帯から2人以上入室する場合、保護者の負担金は2人目は1人目の半額とし、さらに3人目からは無料とすることとしたが、今後においても保育時間の延長など家庭保育室の充実にも努めていく。市立保育園の民営化については、平成17年3月に「所沢市民間委託化推進計画」が策定され、この中で平成22年度から隔年で1園ずつ26年度までに3園の民営化が計画されている。このため、「所沢市立保育園民営化検討委員会」を設置し民営化の手法などについて検討を行っていく。

評価日 平成20年8月6日 記入者職氏名 保健福祉部 三上 一雄

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）			
	施策（大柱）	2 節 児童福祉	H20 実施計画事業費合計	2,213,650 千円	
	中柱	1 子どもたちの健全育成		1,699,028 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
		3 子どもたちを守るネットワークの強化		0 千円	
				千円	
		千円			
		千円			
施策に関係する所属	子ども支援課、保育課、青少年課、福祉総務課				

1)基本方針及び施策の目的

○ 子育て中の親の負担や不安を軽減するために、地域が主体となった子育て支援の体制づくりやサービスの充実を進める。  
○ 子どもたちが安心して健やかに育っていけるように、地域や関係機関等との連携を進める。

2)施策の具体的な内容及び実施方法

○子どもたちの健全育成・子育て環境の多様化に合わせ、保育園や児童館の機能の充実を図るとともに、施設の整備を進める。また、子どもたちの居場所づくりの整備に取り組む。 ○子育て家庭への支援 地域住民やボランティア、NPOなどが連携した子育て支援体制を構築するとともに、保育園や児童館の活動や子育てにかかる相談・情報提供・親同士の交流が出来る場を充実する。また、ひとり親家庭や障害児を持つ家庭への生活支援・経済的支援などに取り組む。 ○子どもたちを守るネットワークの強化 関係機関による「児童虐待防止ネットワーク」の機能を強化するとともに、地域での見守り体制やまちの環境の健全化を進める

3)分野別計画、指針

○所沢市次世代育成支援計画 ○健康日本2 1所沢市計画

② 施策の概要

4)関連・類似施策

○3-6保健・医療 ○4-3青少年育成

5)施策に対する市民ニーズ

『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
	294 人	35.4 %	9 位	3 位
	831 人		43 位	6 位

6)施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
保育園数（市立＋私立）	園	41	44	44
年少人口（0から14歳）の割合	%	13.6	13.5	13.3
ファミリーサポートセンター会員数	人	1,563	1,589	1,849
児童扶養手当認定者数	世帯	1,935	1,999	2,061
児童虐待ネットワーク（～H18）・要保護児童対策地域協議会（H19～）関係機関数	団体	15	17	17

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
040602 家庭保育室運営事業	利用率	受入乳幼児数/定員数	%	100	100	100.0	100
040605 社会福祉法人立保育園施設・設備整備費補助事業	民間保育園定員数	年度未定員数	人	1864	1864	100.0	1864
040117 乳幼児医療費助成事業	一人当たりの支給額	支給額/利用数	円	22000	24348	90.3	22000

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
【5年後の目標】子育て中の親のコミュニティづくり拠点設置数	子育ての悩み等、親同士が共有できるコミュニティづくりの支援拠点施設の充実度を測る指標	ヶ所	年度	17	16	17	17	18	18	年度
			実績値	16	16	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	100.0%	94.1%				18	
保育園待機児童数	保育に欠ける要件がありながら、保育園に入園できずにいる児童数	人	年度	17	0	0	0	0	0	年度
			実績値	125	88	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	228					0	
保育園特別保育実施率	仕事と子育ての料率を図るための保育サービスの供給割合	%	年度	17	100	100	100	100		年度
			実績値	100	100	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	100	100.0%	100.0%				100
		%	年度	17						年度
			実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値	
			達成率							

⑤平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

地域社会の中で、放課後に子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため国による「放課後子どもプラン」推進策に基づき所沢市における総合的な放課後児童対策として「所沢市放課後子どもプラン」を策定した。

1)平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
仕事と子育ての両立のため保育園の待機児童解消	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
子育て中の親のニーズを把握するため「次世代育成支援計画」の推進	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
児童虐待の予防・早期発見と被虐待児の保護	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
家庭児童相談・ひとり親家庭相談事業の推進	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑥評価（課題及び目標）

2)平成20年度における目標設定

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
児童数71人以上の大規模放課後児童クラブについて、22年度から分離・新設するための対応策を検討する。	分離・新設する計画を立て予算化する。	平成20年度末までに

3)今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

「所沢市放課後子どもプラン」では早急に対応すべき課題として、「大規模な生活クラブ・児童クラブの解消」と、「ほうかごところ実施校の拡大」が掲げられており、それに沿った方向で進めていく。

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）			
	施策（大柱）	2 節 児童福祉	H20	2,213,650 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 子どもたちの健全育成	H20実施計画事業費合計	1,699,028 千円	
		2 子育て家庭への支援		514,622 千円	
		3 子どもたちを守るネットワークの強化		872,766 千円	
			千円		
施策に関係する所属	子ども支援課、保育課、青少年課、福祉総務課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的			
	○ 子育て中の親の負担や不安を軽減するために、地域が主体となった子育て支援の体制づくりやサービスの充実を進める。 ○ 子どもたちが安心して健やかに育ていけるように、地域や関係機関等との連携を進める。			
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法 ○ 子どもたちの健全育成 子育て環境の多様化に合わせ、保育園や児童館の機能の充実を図るとともに、施設の整備を進める。また、子どもたちの居場所づくりの整備に取り組む。 ○ 子育て家庭への支援 地域住民やボランティア、NPOなどが連携した子育て支援体制を構築するとともに、保育園や児童館の活動や子育てにかかる相談・情報提供・親同士の交流が出来る場を充実する。また、ひとり親家庭や障害児を持つ家庭への生活支援・経済的支援などに取り組む。 ○ 子どもたちを守るネットワークの強化 関係機関による「要保護児童対策地域協議会」の機能を強化するとともに、地域での見守り体制やまちの環境の健全化を進める			
	3) 分野別計画、指針			
	○ 所沢市次世代育成支援計画 ○ 健康日本2 1 所沢市計画			

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策				
	○ 3-6保健・医療 ○ 4-3青少年育成				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
	6) 施策に係る基礎数値				
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	保育園数（市立＋私立）	園	41	44	44
	年少人口（0から14歳）の割合	%	13.6	13.5	13.3
	ファミリーサポートセンター会員数	人	1,563	1,589	1,849
	児童扶養手当認定者数	世帯	1,935	1,999	2,061
	児童虐待ネットワーク（～H18）・要保護児童対策地域協議会（H19～）関係機関数	団体	15	17	17

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
	【5年後の目標】子育て中の親のコミュニティづくり拠点設置数	子育ての悩み等、親同士が共有できるコミュニティづくりの支援拠点施設の充実度を測る指標	ヶ所	年度	17	16	17	18	18	22	
				実績値	16	16	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	18	
	保育園待機児童数	保育に欠ける要件がありながら、保育園に入園できずにいる児童数	人	年度	17	0	0	0			年度
				実績値	125	88	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		2	0	
保育園特別保育実施率	仕事と子育ての両立支援を図るための保育サービスの供給割合	%	年度	17	100	100				年度	
			実績値	100	100	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	100		
		%	年度	17	100.0%	100.0%				年度	
			実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2					

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み										
地域住民やボランティア、NPOなどが連携して、子育ての悩み等親同士が共有できるコミュニティづくりの支援拠点施設の充実に努めた。ひとり親家庭の経済的安定及びひとり親の自立を促すため、「ひとり親自立支援計画」を策定した。子どもたちを守るネットワークを強化するため、市内17関係機関による「要保護児童対策地域協議会」を設置し、代表者会議・実務者会議・個別ケース検討会議により地域での子どもの見守り体制や要保護児童の早期発見・虐待防止に努めた。										

⑥ 評価（課題及び目標）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題				現在の進捗状況				
	仕事と子育ての両立のための保育園の待機児童解消				<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	子育て中の親のニーズを把握するため「次世代育成支援計画」第二次計画策定に向けた意見を収集している				<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	児童虐待の予防・早期発見と被虐待児の保護				<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	家庭児童相談・ひとり親家庭相談事業の推進				<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑦ 今後の方向性	2) 平成20年度における目標設定		今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)		
	(仮)子ども総合相談センターを設置して、児童虐待の予防・早期発見を目指して、相談窓口体制を強化する。		平成21年度機構改革時に向けて		達成水準(どこまで)		年度末までに体制の準備を進める		
	家庭児童相談業務及び発育・発達支援体制の充実		家庭児童相談員の増員と発育・発達支援体制の整備のための指針をまとめる。		達成水準(どこまで)		年度末までに体制の準備を進める		
	3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）								
	平成21年度機構改革において子ども支援部の構想が掲げられていることから、子どもに関する給付事業・手当て関連事業の統一化を図るとともに、子ども支援課の役割を強化していく。(仮)子ども総合相談窓口を設置し、子育てで不安解消のため相談事業を充実し、積極的な子育て情報の提供を推進するとともに、住民からの泣き声通報・虐待通告に『原則24時間以内・目視確認』を励行していく。このことに伴い家庭児童相談員及びひとり親家庭自立支援員を増員し、子どもに関するあらゆる相談に対応する体制を整えるとともに「要保護児童対策地域協議会」を通じて、関係機関との連携を強化し、虐待未然防止・被虐待児の早期発見をさらに推進していく。また、本市における発育・発達支援体制を整備するための指針をまとめ、発達障害支援法に基づく施策の体系を整備していく。また、児童扶養手当受給開始後5年を経過した方のうち、就労意欲の見えない方に限り児童扶養手当が半額に減額されることになったことを受けて、受給者に対する制度の周知を行い母子家庭の自立支援を充実することが重要である。								
評価日	平成20年8月1日	記入者職氏名	保健福祉部 参事 黒澤 潤子						